

石岡市地域医療ニュース



平成30年の市民医療懇談会で産科・小児科・緊急診療に課題があることが分かった石岡市の地域医療。その後の取り組みと医療体制の変化を振り返ります。

平成30年度 医療の課題が浮き彫りに

石岡市、かすみがうら市、小美玉市の3市による「石岡地域市民医療懇談会」を開催し、産科、小児科、緊急診療などの課題を共有しました。

令和元年度

「石岡地域医療計画」を策定

3市では、石岡市医師会や関係者と協議を重ね、令和2年1月に石岡地域医療計画を策定しました。

計画は、基本理念とともに対策として、地域病院の再編統合・公立化と病床の再配分を掲げました。

これを受け、市は病院整備基本計画の策定に関する翌年度当初予算案を計上しましたが、修正となり、病院整備基本計画の策定は見送りとなりました。

令和2年度

緊急診療および外科の在宅当番医、石岡市医師会病院が休止

こうした中、石岡市医師会病院における緊急診療と、外科の在宅当番医が6月末を

もって休止。石岡市医師会病院は、翌年3月末で全ての病院事業を休止しました。

地域医療計画の見直しが必要に

市は、11月に病院の再編統合・公立化の方針を改めて示しましたが、医療環境の変化により、関係医療機関が方針に基づく計画の実現は困難であるという意向を示したことから、石岡地域医療計画は見直しが必要となりました。

令和3年度

石岡第一病院で こども休日診療が開始

市は、石岡市医師会、石岡第一病院および筑波大学附属病院に協力を求め、7月から石岡第一病院での「こども休日診療」を開始しました。これにより休止していた小児科の初期救急体制が整いました。

石岡市医師会病院跡地で山王台 病院附属石岡共立病院が開設

病院事業を休止していた石岡市医師会病院は、医療法人幕内会に譲渡され、翌年2月、跡地に山王台病院附属石岡共

立病院が開設されました。

計画の見直しに向けて

市は、石岡市地域医療計画の見直しにも着手。石岡市地域医療需要動向調査や地域医療に係る市民ニーズ調査、市民満足度調査付随アンケートを実施しました。

各調査の結果や皆様からいただいたご意見などを踏まえ、地域医療対策の方針を示した「石岡地域医療計画改定（案）」を取りまとめました。

令和4年度

計画を改定し 新たな一歩を踏み出す

3市では、4月に開催した「石岡地方医療対策カンファレンス」を経て、石岡地域医療計画を改定しました。

現在、石岡地域の医療体制は、石岡第一病院で実施している「こども休日診療」（初期救急）、石岡第一病院、山王台病院および石岡循環器科脳神経外科病院による病院群輪番制（二次救急）のほか、地域の病院および診療所による通常診療から成り立っています。



石岡市の医療

ここが知りたい。みんなのギモン



Q1 地域の病院を再編統合して公立化する計画は、どうなったの？

石岡地域医療計画の改定により、地域の病院を再編統合して公立化する計画は、なくなりました。

Q2 石岡地域医療計画は、改定後、何が変わったの？

基本理念「持続可能な医療体制で誰もが安心して暮らせる石岡地域」をもとに取り組み方針を4本柱で展開します。

Q3 石岡市医師会病院は、どうなったの？

医療法人幕内会が、山王台病院附属石岡共立病院として、外来、入院、健康診断と新たな診療科を加えて診療を行っています。



Q4 石岡市の緊急診療は、どうなっているの？

現在は、石岡第一病院で、こども休日診療を行っています（日曜・祝日、年末年始の午前9時から正午）。



石岡市の医療を支える 皆さんからのメッセージ

「持続可能な医療体制」を築くために



氏名 柏木史彦
所属 一般社団法人
石岡市医師会
会長

石岡地域市民医療懇談会で浮き彫りになった課題の第一は、内科、小児科の一次救急体制の脆弱さにありました。その他の抽出できた課題を解決するための方策として病院統合による若手医師を呼べる公立病院の設置を目指しました。これは市の財政に極力負担をかけないプランであり、医療政策の専門家からも羨ましい提案といわれながら、市議会では財政負担の過剰な危惧のみが議論の対象となり、結果公立病院化が白紙になってし

120床の病床をこの地域に確保して 石岡市の医療を支える



氏名 山内幹男
所属 山王台病院附属
石岡共立病院
理事長

石岡市周辺地域の健全な医療の確保のためには石岡市医師会病院（120床）の閉院は大きな損失でありました。公立病院化が破綻になり、医師会長や署名した方々の期待に応えるため、医療法人幕内会が運営を引き受け、令和4年2月より石岡共立病院として再出発するに至りました。

令和4年7月現在の診療科は、小児科・内科・消化器外科・血液内科・呼吸器外科・甲状腺外科・整形外科（凶・塗）・泌尿器科（第2・4田）・乳腺外科（第1・3・5田午前）・婦人科（第2・4田）・人間ドック・健診センター・リハビリテーション科、療養病床45床を開床。医療機器は、マルチCT、超音波装置（腹部・心臓・乳腺・血管・婦人科系）、透視検査、乳腺撮影、胃・大腸内視鏡と、高性能な機能を導入しました。

特に八郷方面の医療を担う、一助として、頑張りたいと存じます。主要幹線道路からやや奥に入るため、分かりづらく、開院後5ヶ月ですが予測以上に受診される方が少なく、また現在、公的補助がありませんので、将来的存在が厳しい状況にあります。中核病院として頑張りたいと思います。近隣の皆様におかれましては、ご利用いただけますよう、簡単ですがご紹介申し上げます。

まったことは極めて残念でした。公立病院があればこのコロナ禍においても発熱外来の設置やPCR検査など、より迅速に対応できていたことでしょう。

石岡地域医療計画の基本理念は「持続可能な医療体制」を作ることでした。民間頼みではその構築は不可能です。市民の健康を守るためには応分の財政負担は避けられないと考えます。今、取り組むべき喫緊の課題は休日・夜間緊急診療の再開です。石岡市が主導してその体制構築を早急に検討し、進めるべきです。石岡市医師会としても当然それに参画していく所存です。

こども休日診療を開設



氏名 吉野浄
所属 石岡第一病院
院長

当院は、開院以来、地域の方々へ最善の医療を提供してまいりました。また、昨年は、従来の機能に加えて、筑波大学附属病院のご協力のもと、こども休日診療を開設いたしました。これからも、地域に根ざした医療を提供すべく尽力してまいります。

医

療に関するご意見を、いつでもお寄せいただける受付フォーム「地域医療ご意見箱」を石岡市公式ホームページに設けました。

医療に関すること、不便に感じたことやご要望など、お気軽にお寄せください▼

問 地域医療対策室

Tel 23・1111（内線7379）

